

ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2017

第17回全日本チアダンス選手権大会・第15回全日本学生チアダンス選手権大会

競技規定



目次

01. 参加資格・編成（年齢）
02. 実施部門・人数
03. 演技内容
04. 各ダンスカテゴリー説明
05. 競技エリア
06. 競技時間
07. 音楽
08. 衣装
09. 手具
10. 安全規定
11. 競技の中断
12. 演技内容申請について（Cheer Dance 部門のみ申請）
13. 得点・順位に関して
14. 入賞・表彰に関して
15. トライアル部門に関して

01. 参加資格・編成（年齢）

2017 年 4 月 2 日の時点で以下の学年で編成したチームであること

- Mini 編成 :メンバーが小学 4 年生以下で編成したチーム
- Youth 編成 :メンバーが小学 6 年生以下で編成したチーム
- 中学生編成 :同一の学校に在籍している中学生で編成したチーム/メンバーが中学生以下で編成したチーム
- 高校生編成 :同一の学校に在籍している高校生で編成したチーム/メンバーが高校生以下で編成したチーム
- 大学生編成 :同一の学校に在籍している大学生で編成したチーム/メンバーが大学生以下で編成したチーム
- 一般編成 :上記以外で編成したチーム

02. 実施部門・人数

- Pom 部門 【Mini 編成・Youth 編成・中学生編成】 (Small 5 名～9 名/Medium10 名～14 名 /LARGE 15 名～)
【高校生編成】 (Small 5～10 名/ Medium 11 名～17 名/ LARGE 18 名～)
【大学生編成・一般編成】
- Cheer Dance 部門 【Mini 編成・Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】
- Hip Hop 部門 【高校生編成・大学生編成・一般編成】
- Jazz 部門 【高校生編成・大学生編成・一般編成】
- トライアル部門 (全編成 ※各予選大会にて実施)

* 本年度より Pom 部門 Mini 編成・Youth 編成・中学生編成において上記の人数による区分を行います

- 人数は 5 名以上で編成すること（人数の上限無し、30 名以上のエントリー可）
- 人数の違反による減点は 5 名未満の場合のみ 1 名につき 2 点の減点とする
- やむを得ない事情に限り、3 名でのエントリーは認めるが 4 点（2 名分×2 点）の減点となる
- 年齢混合チームに関しては、割合に関わらず最年長者が所属する編成でのエントリーとなる
例：小学生と中学生の混合チーム→【中学生編成】にエントリー
- エントリーチーム数によっては、異なる編成を混合編成として一つの編成にまとめることがある

*** 注意：2018 年度より、5 名未満での競技部門へのエントリーは不可となりますので予めご了承ください**

- エントリー時の注意
 - 同団体から複数のチームがエントリーする場合、2 つ以上の異なる予選大会にエントリーすることは不可
ただし、学校行事等でやむをえない理由の場合は同団体、複数チームの他予選大会へのエントリーを認める
*必ずエントリーの前に事務局に連絡をしてください
 - 予選は 1 チームにつき 1 回のみエントリー可
 - 同一選手が重複エントリーする場合は、2 チームまで可
 - 同一選手が重複エントリーする際、トライアル部門を含む場合は 3 チームまで可
例) Pom 部門/高校生 Small 編成と Jazz 部門/高校生編成とトライアル部門 Cheer Dance/高校生編成の重複エントリー可
 - 2017 年度より、同一選手は他部門の他編成（年齢による区分けのみ）で重複エントリーすることは可
例) Pom 部門/Mini Small 編成と Pom 部門/Youth Small 編成のエントリー可
例) Pom 部門/Mini Small 編成と Pom 部門/Mini Large 編成のエントリーは不可
 - 同チームで複数の部門に出場する場合は、それぞれエントリーすること
例) Pom 部門と Cheer Dance 部門にエントリーする際は、エントリーフォームを 2 回送信
 - エントリー期間後（7/7～）に部門や編成を変更することは不可
- 補欠に関する注意
 - 補欠選手の申請は各予選大会専用ページから申請
 - 補欠選手は 2 名まで申請可
* 補欠選手はあくまで大会出場選手が怪我などのやむを得ない時の交代として登録可
* 予選、決勝を通して補欠選手が出場することにより、登録選手数を増やすことは不可
例) 出場選手登録 10 名、補欠選手登録 2 名を行った場合、12 名で演技することは不可
 - 決勝エントリーは予選大会において出場選手及び補欠選手に登録した者のみ登録可

03. 演技内容

- 全部門、家族が観る大会に相応しい演技内容（振り付け、音楽、衣装）を考慮し、構成すること
- 競技者の年齢を考慮し、各年齢に見合った演技内容で構成すること
- 詳細は別途部門毎に定めた「演技規定」を確認すること（協会 HP よりダウンロード可）

04. 各ダンスカテゴリー説明

- Pom
クリーンでタイトなストレートモーションを中心としたダンス
正確で力強いアームモーション、ダンス技術、正確なテクニカルスキルが求められ、チームの一体感、同調性、均一性を重視する視覚的効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化）を取り入れた創造性溢れる振付構成が求められる
- Hip Hop
ストリートスタイル（Hip Hop・Funk・Locking など）の動きとリズムを取り入れたダンス
リズム、ボディアイソレーション、ボディコントロール、ステップワークが求められ、チームの一体感、同調性、均一性が重視される視覚的効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化）を取り入れた音楽を生かしたダイナミックで創造性溢れる振付構成が求められる
- Jazz
バレエを基礎とするしなやかで流れるような動きを中心としたダンス
しなやかさ、ボディコントロール、バランス、ダンス技術、正確なテクニカルスキルが求められ、一体感、同調性、均一性が重視される視覚的効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化）を取り入れた創造性のある振付構成、独創性のある音楽の解釈が求められる
- Line Dance
肩を組むまたは腰に手を添えるなど選手がつながって行うキックのコンビネーション
美しいライン（隊列）、姿勢、正確なキックの技術パリエーションが求められ、チームの一体感、同調性、均一性が重視される横 1 列もしくは前後 2 列のライン（隊列）を組み、選手が 16 カウント以上つながり、少なくとも 4 本以上のキックを行うこと

05. 競技エリア

- 原則として横 20m × 奥行 15m とし、フロアには縦と横にセンターラインが引かれる
- 演技は競技エリア内で行い、途中入退場は不可（全選手が競技エリア内で静止した状態から開始、終了すること）
- 選手以外が競技エリアへ立ち入ることは不可

06. 競技時間

- 競技時間（演技の始めから終わりまで）は **2分～2分30秒**以内とする<違反の場合は2点減点>
- 入退場の時間は競技時間に含まないが合わせて 30 秒以内で速やかに行うこと
- 競技時間の測定のタイミングは音楽又は動きの始まりから音楽又は動きの終わりまでとする
- ±5 秒の誤差は減点対象とならない（但し演技は必ず競技時間規定内で作成すること）

07. 音楽

- 演技に使用する音楽は家族が観る大会に相応しく歌詞の内容にも注意すること
- 音楽に関して減点は行われませんが、審査員の判断のもとスコアシートの点数に反映される
- 演技が無音（音の無い状態）で行われる場合は音源にも無音の状態を入れて作成すること
- 音楽に関しては事前に使用曲申請書（全部門）／演技内容構成表（Cheer Dance 部門のみ）を提出すること

08. 衣装

- 全部門衣装は原則的に自由とするが、競技者の年齢や演技の内容に見合ったものが望ましい
- 競技者としての品位（清潔感、メイク髪型などの身だしなみ、着用の仕方）を損なうものは避け、家族が観る大会に相応しい衣装を正しく着用すること
- 衣装に関しての減点が行われないが、審査員の判断のもとスコアシートの点数に反映される
- 競技中に外れる、また体を傷付ける恐れのあるアクセサリーの着用禁止（指輪・ピアス・ブレスレット・ネックレス・ボディピアスなどはテープや他の方法で覆い隠して着用することも禁止）
- アクセサリーは外れたり体を傷付ける恐れのないよう充分に考慮されたもの（チョーカーやヘアアクセサリーなど）のみ衣装の一部として着用可＜違反の場合は2点減点＞
- シューズは各部門の演技内容及び衣装に見合ったシューズを着用することが望ましい
- シューズの着用にあたっては摩擦や怪我の防止など安全面を充分考慮すること
- 靴下のみを着用や床を傷付ける靴（ヒールのあるもの）の着用は禁止＜違反の場合は2点減点＞

09. 手具

- 手具は基本手に持つタイプのもの（ハットや衣装の一部を取り外して使用するなど）を可とする
- 演技中にフロアや体を傷付ける恐れのあるもの、大道具としての役割を持つものは不可（傘、椅子、選手を覆う布など不可）
- 演技の途中で手具を使用する場合は競技エリア内に準備すること（使用の終わったものが競技エリアの外に出ても良い）
- 部門毎に内容が異なるため、詳細は「演技規定」（協会 HP よりダウンロード可）を確認すること

10. 安全規定

- 全ての演技は選手の年齢やスキルを考慮した上で作られ、安全で怪我の無いよう十分に注意すること
- 部門毎に内容が異なるため、詳細は「演技規定」（協会 HP よりダウンロード可）を確認すること
- 不明な点は事前に協会事務局に問い合わせること（質問の回答を受けるチーム代表者連絡先を明記の上、動きを録画した DVD を協会事務局宛に郵送）

11. 競技の中断

- 選手の怪我や音楽の不備などにより審査員が競技の続行が危険、もしくは不可能と判断した場合、競技を中断させることがある
- 競技の再開や再演技のタイミングはチームに確認のうえ、審査員の判断により行われる
- 競技の再開は演技の最初から1曲通して行われるが、審査は中断された以降を対象とし、それまでの審査及び減点は再演技前のものが反映される

12. 演技構成表の提出について（Cheer Dance 部門のみ）

- 審査員がカテゴリーを正確にジャッジするために、事前に演技内容構成表を提出するものとする
- カテゴリーごとに演技構成の順を追って、演技秒数を記入すること
記入例：Pom 40 秒⇒Line20 秒⇒Hip Hop30 秒⇒Jazz45 秒 《Total2分 15 秒》
- 演技構成上、無音（音の無い状態）で演技を行う場合はその秒数も含めること
- Total Time は必ず競技時間規定の2分～2分30秒以内とすること
例：1分58秒や2分32秒での提出は不可

13. 得点・順位に関して

- チームの総合得点は 100 点を満点とし、総合得点の算出方法は以下のとおりとする
 - 1.) 各審査員がそれぞれ 100 点満点で採点
 - 2.) チームの合計点を審査員の数で割った平均点を算出
 - 3.) 平均点より違反による減点を引いたものをチームの総合得点とする
- 順位は各部門とも高得点順とし、同得点の場合は同順位としてそれ以降の順位は繰り下げとする
- 予選大会の審査は 3 名で行う
- 決勝大会の審査は 6 名で行い、最高点・最低点を除いた 4 名の審査員の得点がチームの総合得点に反映される

14. 入賞・表彰に関して

- 予選大会においては各部門上位チームに入賞及び特別賞を授与する
- 決勝大会においては【Mini 編成／Youth 編成／中学生編成】 及び 【高校生編成／大学生編成／一般編成】において、それぞれ入賞と共に各特別賞を授与する
- 【Mini 編成／Youth 編成／中学生編成】の中で最高得点を獲得した最優秀チームに JCDA 賞を授与する（最優秀チームが同点の場合、決勝審査員の全ての得点を反映し決定するが、そこでも同点の場合はジャッジミーティングにより決定する）
- 【高校生編成／大学生編成／一般編成】の各部門優勝チームの中からジャッジによりグランプリを決定する
- 入賞、特別賞の詳細は、全エントリー終了後に協会 HP にて発表する

15. トライアル部門に関して

- トライアル部門のエントリーは各予選大会に限る
- 過去の大会参加（競技部門・トライアル部門ともに）に関わらず、全チームエントリー可
- 演技内容は各競技部門の規定に沿った演技内容で構成すること
- 競技部門に無い編成でのエントリーも可、但し演技は競技部門の規定に沿った内容で行い、安全面にも十分に考慮すること
例：Jazz 部門 Mini/Youth/中学生編成・Hip Hop 部門 Mini/Youth/中学生編成（トライアル部門内でのエントリー）
- 入賞表彰は行われませんが、チームには JCDA インストラクターによる演技評価コメントシートが渡される